

次は Ekinaka-Art-Project

駅  
アート  
プロジェクト

フ  
ロ  
ン  
ト  
2022

京都をアートで元気に

地下鉄をアートでジャック



## 事業概要

「学・産・官」が連携し、大学生のアート作品で  
駅を装飾し、地下鉄を活性化する。

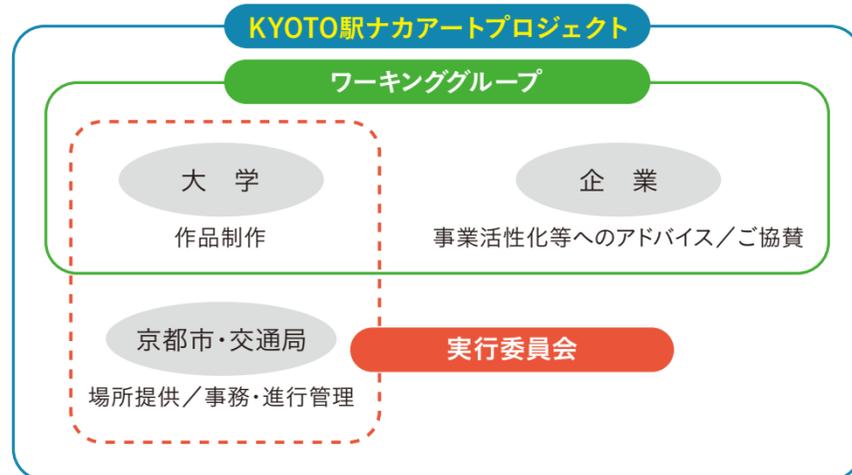
## 実施目的

- 多くの観光客が訪れる国際観光都市・京都の重要な都市装置である「京都市営地下鉄」の「駅」のイメージアップを図り、地下鉄を魅力的なものとして活性化することで、活力ある京都のまちづくりに寄与すること。
- “大学のまち京都”ならではの取組として、芸術系大学の学生が中心となったアート作品の展開により、世界に誇る「文化芸術都市京都」確立への一助となること。
- 本事業を通じた「学・産・官」三者の連携・交流を深め、学生に対し、京都を支える人材への成長の機会を提供すること。

## 実施駅及び参加大学

烏丸線 国際会館駅…………… 京都精華大学	東西線 柳辻駅…………… 京都橘大学
烏丸線 松ヶ崎駅…………… 京都工芸繊維大学	東西線 東山駅…………… 京都芸術大学
烏丸線 北大路駅・鞍馬口駅 大谷大学	東西線 三条京阪駅…………… 京都美術工芸大学
烏丸線 五条駅…………… 京都女子大学	東西線 二条城前駅…………… 京都市立芸術大学
東西線 六地蔵駅…………… 京都教育大学	東西線 太秦天神川駅… 嵯峨美術大学

## 事業体制のイメージ



## 作品のテーマ

「京都をアートで元気に」

## 実行委員会メンバー（令和4年6月7日設立当初）

【大学名・局名 五十音順：敬称略】

大谷大学 教授	松川 節	京都橘大学 准教授	河野良平
大谷大学 講師	倉光延行	京都美術工芸大学 教授	中井川正道
京都教育大学 教授	丹下裕史	嵯峨美術大学 教授	江村耕市
京都芸術大学 教授	都築 潤	嵯峨美術大学 教授	宇野和幸
京都工芸繊維大学 准教授	西村雅信	京都市交通局 企画総務部 増収増客担当部長	坂根正樹
京都女子大学 准教授	江口淑子	京都市文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課 担当課長	牧澤 憲
京都市立芸術大学 教授	藤本英子		
京都精華大学 教授	中川裕孝		

## ワーキンググループメンバー

【大学名・五十音順：敬称略】

大谷大学 教授	松川 節
大谷大学 講師	倉光延行
京都教育大学 教授	丹下裕史
京都芸術大学 教授	都築 潤
京都工芸繊維大学 准教授	西村雅信
京都工芸繊維大学 名誉教授	山本建太郎
京都女子大学 准教授	江口淑子
京都市立芸術大学 教授	藤本英子
京都精華大学 教授	中川裕孝
京都橘大学 准教授	河野良平
京都美術工芸大学 教授	中井川正道
嵯峨美術大学 教授	江村耕市
嵯峨美術大学 教授	宇野和幸

【企業名・五十音順】

株式会社イシダ
有限会社画箋堂
京都信用金庫
京都地下鉄整備株式会社
株式会社サンエムカラー
株式会社ジイケイ京都
株式会社島津製作所
株式会社ボックス画材
ポノス株式会社
村田機械株式会社
株式会社リーフ・パブリケーションズ

## KYOTO 駅ナカアートプロジェクト 2022 感謝状贈呈式&ジョイントミーティング

日 時:令和4年12月22日(木)  
場 所:キャンパスプラザ京都 第2講義室

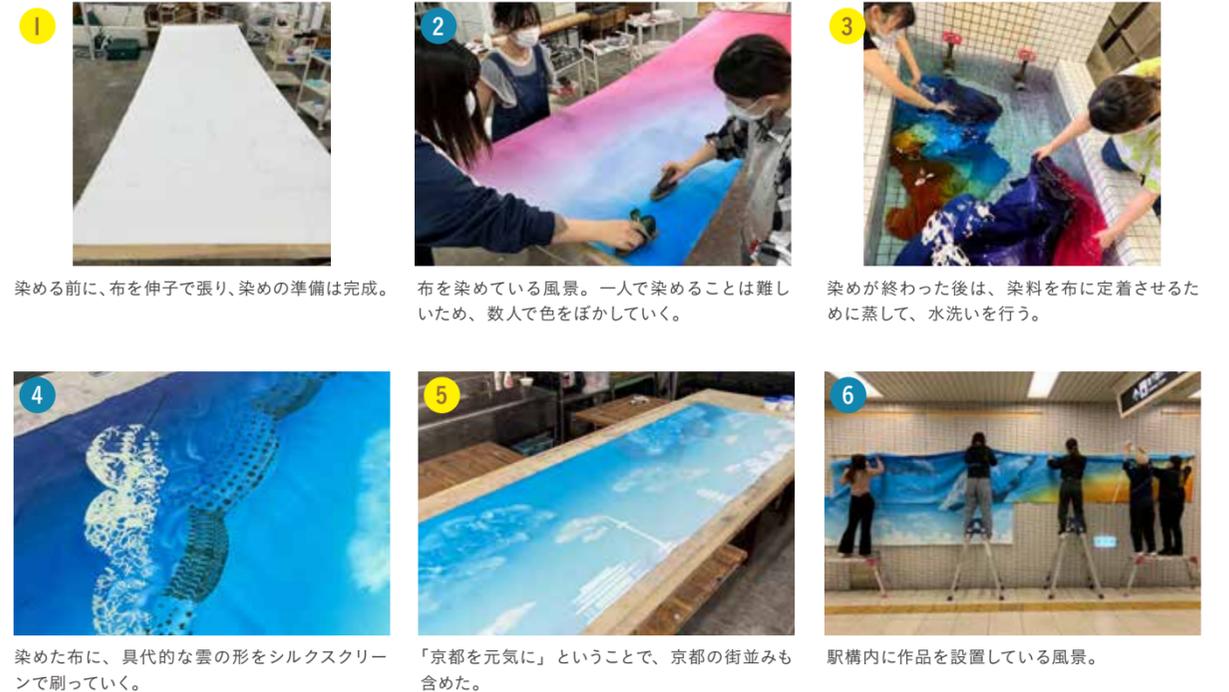
京都の「大学」と「企業」と「行政」が一体となって取り組む様子をより多くの方々にご覧いただけるよう、例年「感謝状贈呈式」と「ジョイントミーティング」を開催しています。今年度はキャンパスプラザ京都にて、門川京都市長から作品制作に当たった各大学の学生達にそれぞれ感謝状が手渡され、ジョイントミーティングでは、学生達が作品説明のプレゼンテーションを行い、出席者からご意見等をいただくことができました。



## 制作風景

今年の作品テーマ「京都をアートで元気に」について、学生たちが各々の感性に基づき相談、検討を重ね、一つひとつの作品を創り上げていきました。

### 国際会館駅：京都精華大学



### 松ヶ崎駅：京都工芸繊維大学



### 北大路駅：大谷大学



1 資材には廃材となる予定のものを再利用しました。



2 お借りした写真を吟味しています。



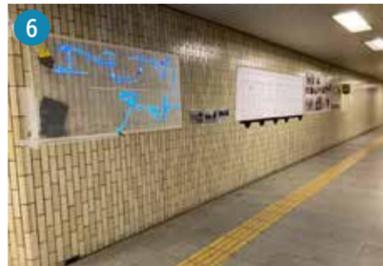
3 切って貼って…



4 電飾ロゴを作っています。

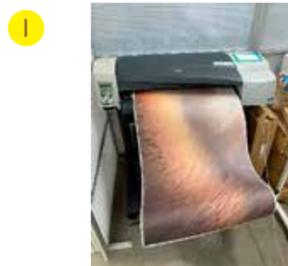


5 展示開始です。

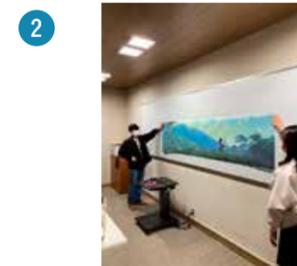


6 完成です！

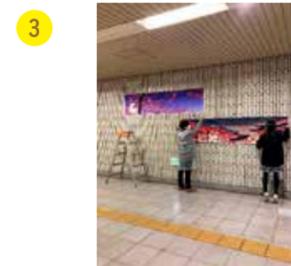
### 鞍馬口駅：大谷大学



1 AI アートを可能な限り大きく印刷するため、このようにプリントしました。  
AI アート出力には、stable diffusion を使用しました。



2 展示イラストの大きさを確認しているところです。



3 鞍馬口駅での展示の様子です。  
通行する人の目に止まりやすいような高さを心掛けました。



4 3つの和歌それぞれに二つの絵を出力し、三か所に設置して、世界観を分けるようにしました。



5 壁に先にテープを貼って、位置を事前に確認したうえで、失敗のないように作業をしていきました。



6 最後に、説明のボードを設置しました。  
少しでも、日本の和歌の世界を味わってもらえるように工夫しました。

### 五条駅：京都女子大学



1 切って貼って



2 座って貼って



3 立って貼って



4 登って貼って



5 みんなで貼って



6 速く貼って

### 六地蔵駅：京都教育大学



1 手びねりで土をマーブル模様になるように混ぜ合わせて作った陶器に、印花やイチンで模様を付け、素焼きの段階で薄く溶いた釉薬を付けました。  
陶板とは異なり、ぼこぼこ出っ張った有機的な形状が、駅のタイルと陶板との間に入ることで独特のリズムができて面白いと思立ち、制作しました。



2 窓は、スラブローラーで均一に引き延ばした粘土を張り合わせ、タタラ作りで仕上げました。窓枠をくっつける時に、力を込めすぎると型崩れしてしまう点と、接着後に表面を平らにする時に、ヘラが余計なところに当たって凹みができてしまう点に苦労しました。



3 ②の窓に色化粧を塗り、素焼きをしました。そこに砕いたガラスを乗せています。窓の中でガラスが流れてしまわないように、どのくらいの量を乗せるか悩まされました。



4 スラブローラーを使って陶板を伸ばしています。色の違う粘土を組み合わせるローラーで伸ばし、その上に大学内で取れた葉っぱや小石、古くなったレースなどを置き、一緒にローラーで伸ばして型を付けました。どのくらいの厚みが壊れにくいのか、反らないように何回伸ばせばいいかの、回数を重ねてだんだん分かりました。



5 陶板を素焼きして、薄く溶いた釉薬を付けて、スポンジなどでこすりました。こうすることで、土本来の質感を残して自然な風合いになります。型にだけ釉薬が溜まって艶が出るので、質感の違いが楽しめます。



6 展示したものがこちらです。全部の作品が合わさることで、独特のリズムが生まれ、有機的で温かい空間にできたと感じます。設置の際に、作為的な配置にならないように一つ一つの形の置き合いや、作品同士の間隔を意識しました。作品をぐるぐる回して様々な角度から配置を繰り返し考えたり、配置を決める係を交代で務めたりして、やっとたどり着いた形だと思います。一人では成しえなかった作品でした。

## 制作風景

### 栂辻駅：京都橘大学



1 テーマ、タイトルをKJ法で決めているところ。



2 壁に原画を投影し、下地のステンボードに輪郭を下書きしているところ。



3 輪郭に合わせて、マスキングテープを貼っているところ。



4 ラメ入りのレジンを流し込み、実験しているところ。



5 駅で作品設置の準備をしているところ。



6 完成記念写真。

### 東山駅：京都芸術大学



1 初ミーティングはそれぞれを持ち寄り、「言葉遊び」というテーマに絞ることができた。



2 撮影スタジオでの撮影会。たくさんの笑顔を集めた！



3 大型印刷のカット。一刀両断！



4 しわや空気を防ぎながら慎重に貼っていく！これが結構難しい、、、。



5 通りかかる人の「すごい」が嬉しい！



6 達成感の表れ！みんなでハイチーズ。

### 三条京阪駅：京都美術工芸大学



1 原画となる細密画を選択する



2 展示用原稿を作成する



3 展示用原稿を出力する



4 台紙を作成する



5 印刷原稿と台紙を貼り合わせる（作品数240枚）



6 壁面清掃後、作品を両面テープで壁に固定する

### 二条城前駅：京都市立芸術大学



1 900枚程度の蒲鉾板に穴を開ける。



2 蒲鉾板を予め作っておいいた枠に実際にかけて400枚程度に厳選する。



3 蒲鉾板に弁柄、枠に松煙、ダボにチタンを柿渋と混ぜて塗装する。



4 枠の壁との接着面にアクリル両面テープを貼る。



5 枠を設置する。



6 蒲鉾板をかけて設置完了！

## 制作風景

### 太秦天神川駅：嵯峨美術大学



1 自作の陶芸作品をハンマーで砕く



2 砕かれた欠片を撮影してステッカーを作る



3 砕かれた欠片をアクリルケースに納める



4 ステッカーのレイアウトを決める



5 タイルに合わせてステッカーを貼る



6 欠片の入ったアクリルケースを設置する

## 作品一覧

### 〔実施駅及び参加大学〕



〔展示期間〕 令和4年11月18日～令和5年1月13日

### 〔広報物制作〕

京都女子大学の学生が江口淑子先生のご指導のもと、ポスター、パンフレット表紙等の広報物デザインを一手に引き受けてくれました。

「駅“ナカ”アート」をヒントに、地下鉄車両で開催される美術館のイメージで制作しました。車両のドアを美術館の展示に見立て、ジオラマ人形を観客として配置し、アート作品を鑑賞している様子を表現しています。駅を利用する方に、まるで美術館にいるようにアートを楽しんでもらいたい、観る人と共にアートをつくりあげているという思いを込めました。 制作者 山根五和さん

### B1 ポスター



ポスターデザイン

### B3 ポスター



フラッグ・キャプションボード展示風景

作品名 そら — THE SKY —

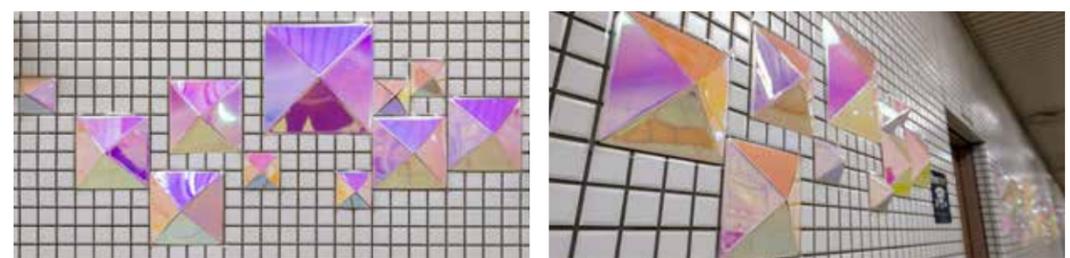
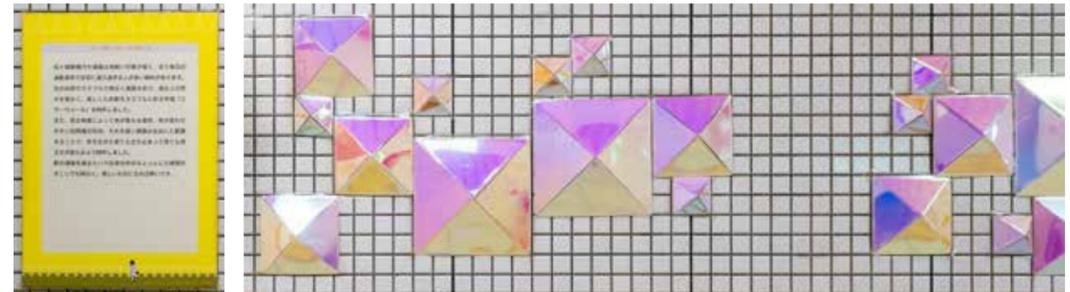
制作者 | 伊藤梨乃・金田結愛・菊池優惟子・トシャノン カヤ・前田乃愛  
指導教員 | 中川裕孝



今回のテーマ、「京都をアートで元気にする」ということで、私達は長い期間話し合いました。話し合った結果、気持ちが落ち込んだ時に、上を見上げることで晴々とした気持ちが生まれることに気づきました。その気づきから、私達は美しい空を描きました。この空は京都の空を再現しているため、京都タワーを中心にした京都の街並みを加えて描きました。あなたも、空を見上げてみませんか？

作品名 ミラーウォール

制作者 | 石川桐子・井上芹香・岡田葉音・野村柚衣・マルドナド ソライダ  
指導教員 | 西村雅信



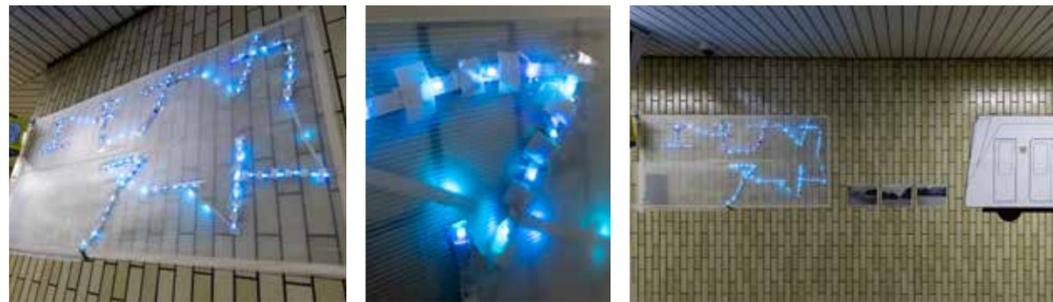
松ヶ崎駅構内や通路は薄暗い印象が強く、また毎日の通勤通学で足早に通り過ぎる人が多い傾向があります。光の反射でカラフルで明るく通路を彩り、通る人の気分を明るく、楽しくするため、駅をカラフルに彩る作品『ミラーウォール』を制作しました。また、見る角度によって色が変わる素材、色が変わりやすい四角錐の形状、それを長い通路の左右に配置することで、歩きながら見ても立ち止まって見ても見え方が変わるよう制作しました。駅の通路を通るという日常の中のちょっとした時間がすこしでも明るく、楽しいものになれば幸いです。

# 北大路駅

大谷大学

## 作品名 駅と街のコンテクスト

制作者 | 長野摂受・石田敦輝・岩本隼弥・奥出里沙・小野 渚・金崎良太・小林さくら・高橋柚羽・辻さやか・西 遥矢・橋本健太郎・梶谷大輔・PENKI FACTORY 一同  
指導教員 | 松川 節



私たち大谷大学は北大路駅で「駅と街のコンテクスト」をテーマに、駅と街の歴史を見返せるような企画を考えました。今年はPenki Factory Media Worksと松川ゼミの合同の展示で、LEDテープを使った駅ナカアートのロゴと昔の北大路駅とその周辺の様子の写真を掲示しました。

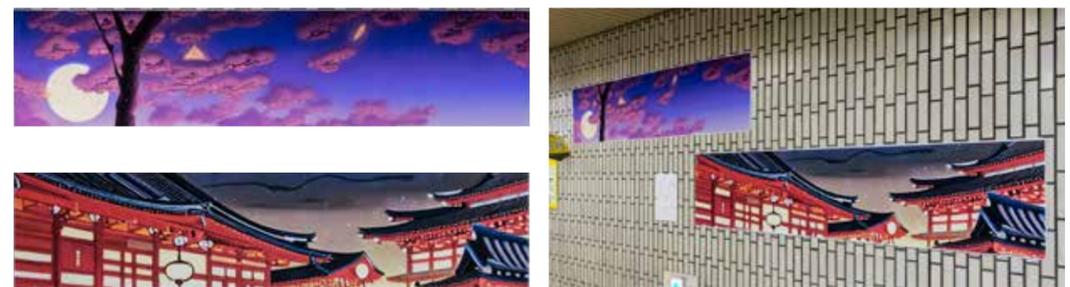
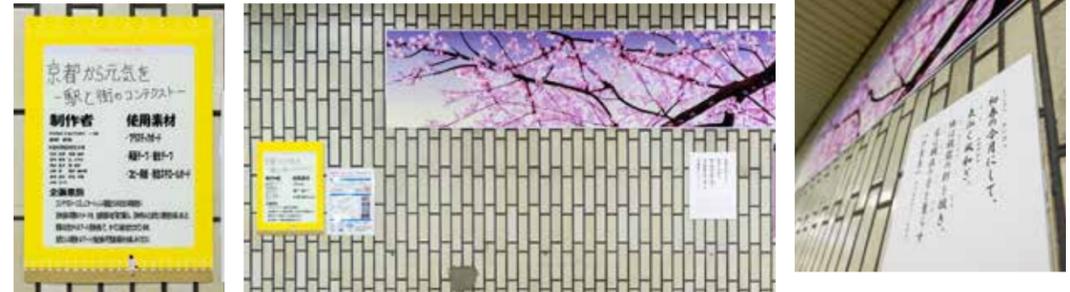
コンテクスト=コミュニケーションの基盤となる文化の共有度合です。街と駅の歴史を再認することで、自分たちが今の地点にいるのかを見つめ直す展示としました。昔の写真の展示には北大路駅の目の前にある写真店の堀口大学さまにご協力いただき、京都市の地下鉄にまつわる昔の写真をお貸しいただきました。地下鉄の車両が、街の歴史を引っ張ってこれからも走り続けるイメージを提示し、駅と街の関係を表しました。

# 鞍馬口駅

大谷大学

## 作品名 駅と街のコンテクスト

制作者 | 長野摂受・石田敦輝・岩本隼弥・奥出里沙・小野 渚・金崎良太・小林さくら・高橋柚羽・辻さやか・西 遥矢・橋本健太郎・梶谷大輔・PENKI FACTORY 一同  
指導教員 | 松川 節



日本古来の和歌のイメージを、古都京都の地下鉄で展示し、人と自然との関係性を表しました。特に鞍馬口駅周辺は、神社やお寺だけでない上京らしい文化の蓄積を象徴するエリアです。展示の絵はすべて、和歌の文言からAIアート技術を用いて出力されています。和歌の読み込み方を工夫し、1つの句から2つの全く別の絵を作りました。

題材となった和歌は、「百人一首」から紫式部の句と、その娘である大式三位が詠った有馬山の句、そして、新元号「令和」のもととなった「万葉集」の歌三十二首の序文です。芸術系大学でない私たちができることを考え、新しい技術にチャレンジしました。これがアートであるかという議論を提示する意味も込め、現時点のAIで可能なことを提示しました。自然と人の関係をAIアートが描き表す不思議な展示をお楽しみいただけたなら幸いです。

# 五条駅

京都女子大学

## 作品名 異世界旅行

制作者 | 浅野満如・足立玲奈・伊藤ロレイン愛子・角橋美音・神田美央理・木暮陽菜・佐々岡ひなた・竹原早菜・出垣内夕菜・山根五和・山本奈々  
指導教員 | 江口淑子



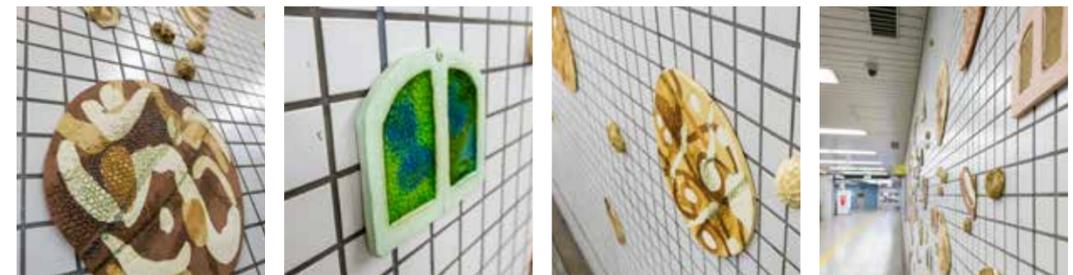
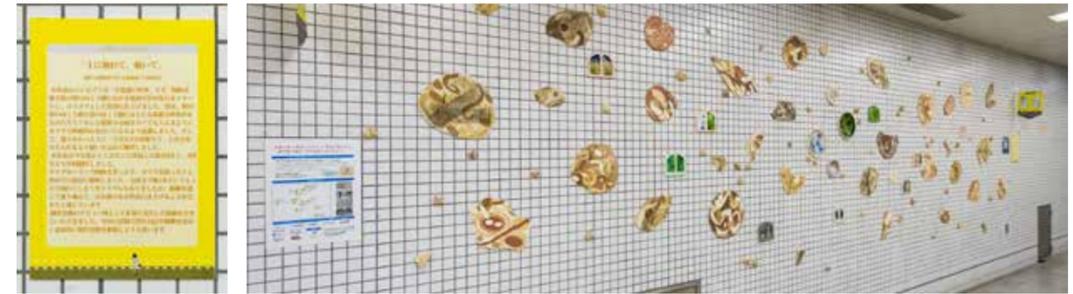
コロナ禍で巣ごもりが続く中、少しでも非日常感を味わってもらいたい。五条駅を明るく活性化したいと思い異世界旅行というテーマで制作しました。この作品は大きく3つのパートに分かれています。①4つの柱を大きな4つの気球に見立て、異世界旅行に出発します。②階段周りは地下と地上にまたがる不思議な空間を表現しています。恐竜の骨、気球工場や、空中空間。気球も旅しています。③地下通路は、地下鉄の車内に見立てて、電車で異世界旅行をしています。窓の外に異世界が広がります。空想の世界に遊んでもらえればと思います。

# 六地藏駅

京都教育大学

## 作品名 土に触れて、覗いて

制作者 | 坪田蒼生・米本真里奈・川辺史緒里・木南杏奈  
指導教員 | 丹下裕史



本作品のコンセプトは「不思議の世界」です。駅の壁の向こう側や窓の向こう側にはどんな素敵な世界があるのだろうか？そんな想像力を掻き立てることができるように、そして、通りかかった人に、「今日も！日頑張ろう」と活力を与えられるようお願いを込めて、駅構内の物とは質感や色合いが対照的になるようにしています。

陶板は「地層が剥き出しになっている」というイメージで、色の違う土を組み合わせ、身近にある様々なものと一緒にスラブローラーで伸ばして、化石のような型をつけました。自然の中で長い時をかけて生み出されたような表情豊かで遅い風合いに仕上げることを意識しました。

窓は、砕いたガラスを組み合わせ制作しました。窓を開けたらどこに繋がっているのか、見る人一人一人が異なるドラマを生み出してもらえると嬉しいです。

# 栂辻駅

京都橘大学

## 作品名 Nagitsuji 弁当

制作者 | 池田昇生・池本そら・石田海咲・岡村宗颯・川田 花・坂本竜馬・山東妃菜子・杉本羽衣・杉本珠里・関之尾晴哉・大道竜慈・藤井咲良・星山隼杜・堀内基盟・前田千裕・山本陸人  
指導教員 | 河野良平



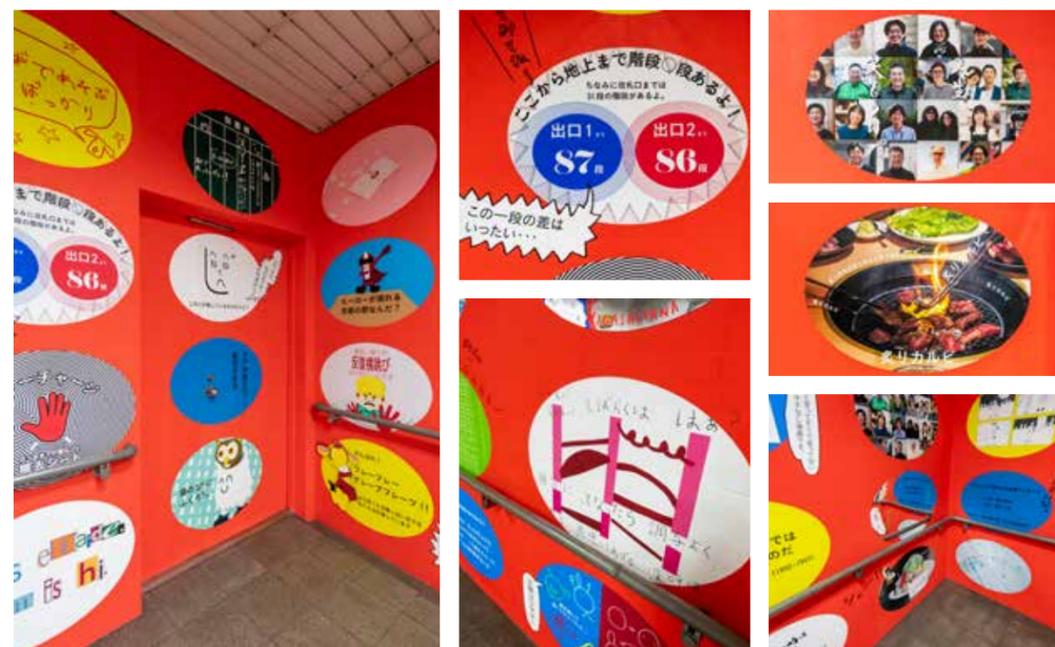
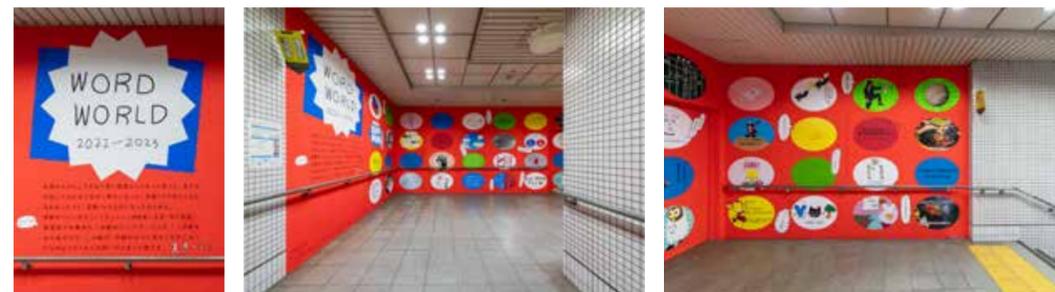
私たちの作品は、栂辻駅を利用する人が元気になるためにはどうしたらいいかを考えて制作しました。その結果、みんなが好きなお弁当の具材をモチーフにしたアートを制作することにしました。さまざまな表情の個性的なタコさんウィンナーをベースに、お弁当に入っていたら嬉しい具材が散りばめられた、見て楽しい、想像して美味しいアート作品ができたと思います。

# 東山駅

京都芸術大学

## 作品名 WORD WORLD

制作者 | 明原由征・内田佳佑・國森麗名・前田こゝ・山元理央  
指導教員 | 都築 潤



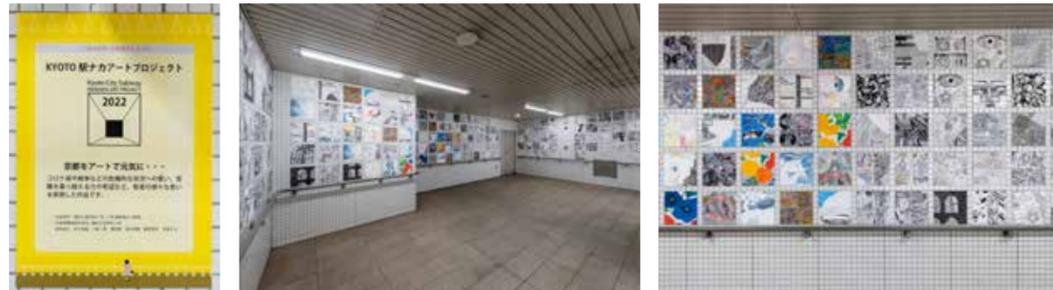
「京都をアートで元気に」  
どうすれば京都をアートで元気にできるのか？話し合いを重ねていく中で時折出てくるだじゃれや言葉遊びが、煮詰まった話し合いのムードを和らげてくれました。これこそ京都を元気にできるテーマだ！と思い、今回わたしたち京都芸術大学のテーマは「言葉遊び」となりました。なぞなぞ、ダジャレ、早口言葉など身近なことばを使ってそれぞれが言葉遊びを表現しました。いつも使う東山駅の一角でクスッと笑ってもらえるように。

# 二条京阪駅

京都美術工芸大学

## 作品名 京都をアートで元気に…

制作者 | 原画 工芸学部 美術工芸学科 デザイン領域 1年、2年・原画再構成担当 工芸学部 美術工芸学科 デザイン領域 2年・井上真緒・小林一哲・篠崎 夏・鈴木孟仁・竹本そら・田中伊織・藤原真奈  
指導教員 | 岡 達也・中井川正道



コロナ禍や戦争などの危機的な状況への憂い、その苦難を乗り越える力や希望など、若者の様々な思いを表現した作品

# 二条城前駅

京都市立芸術大学

## 作品名 時生記 -Tokioiki-

制作者 | 山崎 文・陳 樹傑・吉田悠真・山口裕也・郭 俊邑  
指導教員 | 藤本英子



この作品は、弁柄と松煙によって染められた壁が、人々の往来、電車の到来に由来する風や振動を受け止め形を変えていくことで、タイル張りの壁面を異化させるだけでなく、人々の営みが積層されていくことを目指しました。実際に設置すると、時を記録するだけの作品にとどまらず、嬉しい活動が生まれました。無邪気な子供たちは弁柄に染められた蒲鉾板を持って帰ったり、木目を頼りに配置を変えたりといった遊びをし、年配の方はその様子を眺めたりと、人々が作品を通して繋がっていくものとなったのです。公共空間に設置する作品として、利用者がインタラクティブするアートとなったことを大変喜ばしく思っています。

作品名 この惑星

制作者 | 米山 稜  
指導教員 | 宇野和幸・江村耕市



この作品は、わたしの気に入らない作品を壊すところから始まりました。やきものはわれものであり、同時に恒久的に存在が残るものです。現状の世界はバラバラと割れ爆ぜてしまい、かけらをひろいあつめながら新たなかたちをさがしている途中なのだと思います。この作品は焼き上げた陶器を破壊することで、どのようなイメージを再構成できるか試そうとしたものです。立体に再成形するのではなく、かけらの状態であることでどのように組み立てていくか試行錯誤している現在の自分や世界のありかたと重ねています。私や人類は再構築していく世界でもがいている最中です。不安定な情勢のなか、それでもバラバラになったものたちはそこに存在している。どうつないでいくかは、これからのわたしたち次第なのだと思います。

## これまでの軌跡

- 第1回 展示期間：平成23年12月14日～平成24年5月15日  
(参加大学) 京都工芸繊維大学・京都精華大学・京都府立大学
- 第2回 展示期間：平成25年3月13日～6月30日  
(参加大学) 京都教育大学・京都工芸繊維大学・京都嵯峨芸術大学・京都女子大学・京都市立芸術大学・京都精華大学・京都造形芸術大学・京都橘大学・京都府立大学
- 第3回 展示期間：平成26年3月27日～5月31日  
実行委員会を設立しての運営開始  
(参加大学) 京都教育大学・京都工芸繊維大学・京都嵯峨芸術大学・京都女子大学・京都市立芸術大学・京都精華大学・京都造形芸術大学・京都橘大学・京都府立大学
- 第4回 展示期間：平成27年3月7日～5月31日  
(参加大学) 京都教育大学・京都工芸繊維大学・京都嵯峨芸術大学・京都女子大学・京都市立芸術大学・京都精華大学・京都造形芸術大学・京都橘大学・京都府立大学
- 第5回 展示期間：平成28年3月23日～5月31日  
(参加大学) 京都教育大学・京都工芸繊維大学・京都嵯峨芸術大学・京都女子大学・京都市立芸術大学・京都精華大学・京都造形芸術大学・京都橘大学・京都府立大学
- 第6回 展示期間：平成29年3月21日～5月31日  
(参加大学) 大谷大学・京都教育大学・京都工芸繊維大学・京都女子大学・京都市立芸術大学・京都精華大学・京都造形芸術大学・京都橘大学・京都府立大学・嵯峨美術大学  
京都女子大学がポスター等の広報物をデザイン
- 第7回 展示期間：平成30年3月28日～5月31日  
(参加大学) 大谷大学・京都教育大学・京都工芸繊維大学・京都女子大学・京都市立芸術大学・京都精華大学・京都造形芸術大学・京都橘大学・京都美術工芸大学・京都府立大学・嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学  
京都精華大学がポスター等の広報物をデザイン
- 第8回 展示期間：平成31年3月18日～令和元年5月31日  
(参加大学) 大谷大学・京都教育大学・京都工芸繊維大学・京都女子大学・京都市立芸術大学・京都精華大学・京都造形芸術大学・京都橘大学・京都美術工芸大学・京都府立大学・嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学  
京都美術工芸大学がポスター等の広報物をデザイン
- 第9回 展示期間：令和2年3月24日～10月31日  
(参加大学) 大谷大学・京都教育大学・京都芸術大学・京都工芸繊維大学・京都女子大学・京都市立芸術大学・京都精華大学・京都橘大学・京都美術工芸大学・京都府立大学・嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学  
京都工芸繊維大学がポスター等の広報物を担当
- 第10回 展示期間：令和3年9月22日～11月30日  
(参加大学) 大谷大学・京都教育大学・京都芸術大学・京都工芸繊維大学・京都女子大学・京都市立芸術大学・京都精華大学・京都橘大学・京都美術工芸大学・京都府立大学・嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学  
京都美術工芸大学がポスター等の広報物をデザイン
- 第11回 展示期間：令和4年11月18日～令和5年1月13日  
(参加大学) 大谷大学・京都教育大学・京都芸術大学・京都工芸繊維大学・京都女子大学・京都市立芸術大学・京都精華大学・京都橘大学・京都美術工芸大学・嵯峨美術大学  
京都女子大学がポスター等の広報物を担当

— KYOTO 駅ナカアートプロジェクト 2022 にご協賛いただいた企業 —

地下鉄の安全を支える

京都地下鉄整備株式会社



絵を描く材料と額縁のお店  
画笈堂  
<http://www.gwasendo.com>



GK Kyoto  
Design and Planning



後援



【主催】 KYOTO 駅ナカアートプロジェクト実行委員会  
(10大学、文化市民局及び交通局からなる委員会。)

「駅ナカアートプロジェクト」に関するお問い合わせ先  
京都市交通局企画総務部営業推進課 TEL.075-863-5056 (平日 8:45-17:30)